京都市交響楽団×京都市呉竹文化センター連携事業　京都市交響楽団指揮者による音楽ワークショップ

指揮者のお仕事！ハーモニーって？

京都市交響楽団常任首席客演指揮者である高関健氏が、墨染交響楽団を指揮、指導する様子を地域の皆様にご鑑賞いただきます。

オーケストラの指揮者はどのように音楽づくりをするのか体感していただく公演です。

2018年 1/29 Mon 月

入場無料【事前申込制】

定員(600名)になり次第、締め切らせていただきます。

19時30分開演[19時開場] 20時45分終演予定

会場

京都市呉竹文化センター ホール

京都市伏見区京町南七丁目35番地の1

出演

高関 健(京都市交響楽団常任首席客演指揮者)

墨染交響楽団

(平成29年度京都市呉竹文化センター 文化芸術活性化パートナー団体)

■ 京阪電車京阪本線「丹波橋駅」西口前
■ 近鉄電車京都線「丹波橋駅」西口前

※駐車場はございません。公共の交通機関でご来場下さい。

申込方法

下記のいずれかにより**京都市呉竹文化センター**までお申込み下さい。

電 話 [氏名、参加人数、電話番号をお知らせ下さい。]

FAX [氏名、参加人数、FAX番号をお知らせ下さい。]
お申込みいただいた方には、折り返し参加の可否をFAXでお知らせいたします。

課題曲　メンデルスゾーン 作曲
交響曲第3番イ短調
「スコットランド」より第1楽章

高関 健 *Ken Takaseki*

国内主要オーケストラで重要なポジションを歴任。サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会で大絶賛を受けるなど、海外への客演も多い。新国立劇場「夕鶴」などオペラでも好評を博し、作曲家やソリストからも絶大な信頼を得る。現在、東京シティ・フィル常任指揮者、京都市交響楽団常任首席客演指揮者、東京藝術大学指揮科教授　兼　藝大フィルハーモニア管弦楽団首席指揮者。2018年4月から仙台フィルのレジデント・コンダクターを兼任。

墨染交響楽団

当団は2006(平成18)年に結成された伏見区を活動の本拠とする市民オーケストラです。地域の音楽文化振興の一翼を担うことを目的として設立され、地域密着の活動をコンセプトとしています。楽団メンバーには様々な職業、幅広い年齢層が集まっていますが、比較的若い世代が多いということも特徴で、平均年齢は30歳程度となっています。「聴衆も、演奏者も楽しめる演奏会を」と心がけて2017年9月までに年2回、計22回の定期演奏会を呉竹文化センター、文化パルク城陽、京都コンサートホールにて開催してきました。地域イベント参加や図書館・小学校への訪問演奏なども実施しています。また、演奏会の開催意図として、地域の皆様に「近所で、気軽に、本格的な」オーケストラ芸術に触れていただくということを掲げており、定期演奏会はクラシックの有名曲、親しみやすい曲や目を引くコンチェルトなどを取り上げるとともにすべて無料公演として実施しています。

公的な実績としては、平成20年～22年度 京都市地域文化会館フランチャイズ化事業、平成23～26年度、28、29年度 文化芸術活性化パートナーシップ事業における伏見区・京都市呉竹文化センターの指定団体として活動しました。この活動にはご存知のように無料公演や子供向けのワークショップ・教育プログラムが含まれています。

京都市呉竹文化センター

電 話:075(603)2463　FAX:075(603)2465

主 催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
(京都市交響楽団・京都市呉竹文化センター)